

繊維補強無収縮超速硬グラウト

小野田超速硬グラウト材 PFG[®]-15

PFG-15

特 長

優れた流動性

特殊繊維の分散性がよく流動性に優れています。

3時間で24N/mm²以上の圧縮強度を実現

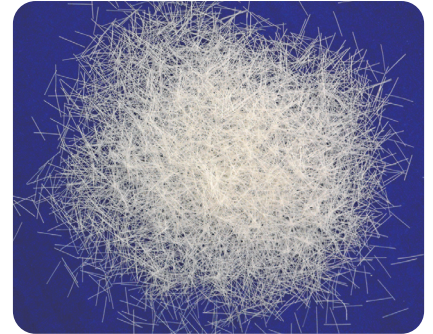
3時間で24N/mm²以上の強度が得られ、長期にわたり安定した強度増進を示します。

優れた耐久性

特殊繊維の混入によりタフネスが高く、衝撃に対する耐久性に優れています。

無収縮性

打設後のブリーディングが発生しません。



特殊繊維

包装形態



● 小野田超速硬グラウト材 PFG-15
プレミックスタイプ 20kg/袋

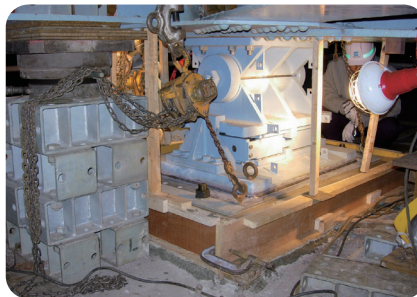


● ジェットセッター W
(専用遅延剤) ※別売

用 途

- 橋梁沓座基礎空隙充填
- 目地・不陸調整
- 機械基礎等空隙充填

橋梁沓座での使用例 ▶



物 性 (例) ※数値は、実験室データ例です。 可使時間 30 分

温 度 (℃)	1 袋当たりの 練り水量 (%)	J ₁₄ ロート 流下時間 (秒)	圧縮強度 (N/mm ²)				
			2 時間	3 時間	6 時間	1 日	7 日
10	3.8	7.6	18	24	28	34	46
20		7.9	23	28	33	37	51
30		8.1	26	33	36	38	48

繊維補強無収縮超速硬グラウト 小野田超速硬グラウト材 PFG®-15

配合(例)

目標コンシステンシー J ₁₄ ロート流下値 (秒)	種類	小野田超速硬グラウト材 PFG-15 (kg)	標準 練り水量※1 (ℓ)	ジェットセッターW (専用遅延剤)	練り上り量 (ℓ)
8±2	1袋当たり	20	3.6～4.0	適宜※2	約11※3

※1 目標とするコンシステンシーを得るために、事前に標準練り水量の範囲で水量を確認して下さい。

※2 ジェットセッターW(専用遅延剤)は練り水と混合し、表を参考に環境温度に応じた量を添加して下さい。

※3 1m³当たりの使用量は、約91袋となります。

使用方法

小野田超速硬グラウト材(PFG-15)1袋当たり、**3.6～4.0ℓ**の標準練り水量の範囲でご使用下さい。

使用時の注意

- 標準練り水を超える水量で練り混ぜた場合、材料分離や強度不良の原因となります。
- ジェットセッターW(専用遅延剤)は、練り水に所定量を加えてご使用ください。
- 練り混ぜ時間は、ミキサーの性能により異なります。ご注意ください。
- 養生は、打設後3時間以上行って下さい。また低温下では打設後、保温養生して下さい。
- アルミ製の攪拌羽根は異常膨張の原因となりますので、使用しないで下さい。

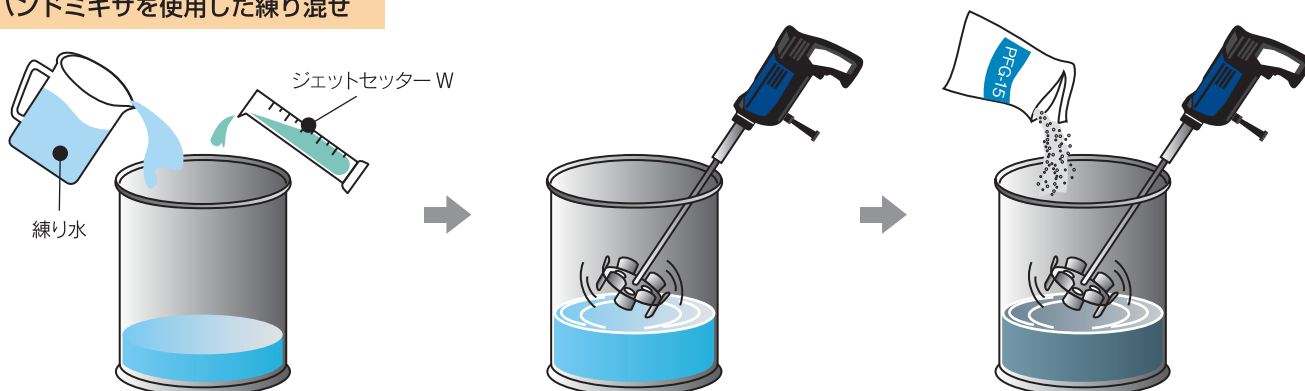
練り水とジェットセッターWは、あらかじめ計量しておいてください。



● ジェットセッターWの添加例(ハンドリングタイム10min)

環境温度	10℃	～	20℃	～	30℃
使用量(ℓ/袋)	約20ml	～	約45ml	～	約70ml

ハンドミキサーを使用した練り混ぜ



① 練り水とジェットセッターW投入

② ハンドミキサーで練り混ぜ

③ PFG-15を投入して練り混ぜ3分

● 1m³あたり小野田超速硬グラウト材の現場配合(20℃)

※ 1袋あたりの練り上り量は、約11ℓとなります。(1m³≒91袋)

超速硬グラウト材(PFG-15)	練り水量
91袋	330～370

小野田超速硬グラウト材 PFG-15 取扱い上の注意

- 目や皮膚への接触を避けるため、適切な保護具(手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用し、換気に注意して下さい。
- 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討下さいますようお願い致します。
- 使用の前に当製品の安全データシート(SDS)をお読み下さい。

「PFG」は、小野田ケミコ(株)のセメント系材料の登録商標です。

